

新型コロナウイルス感染症の 流行予測と対策

継続は力なり

大橋 順

東京大学大学院理学系研究科
ヒトゲノム多様性研究室

<http://www.bs.s.u-tokyo.ac.jp/~humgendiv/>

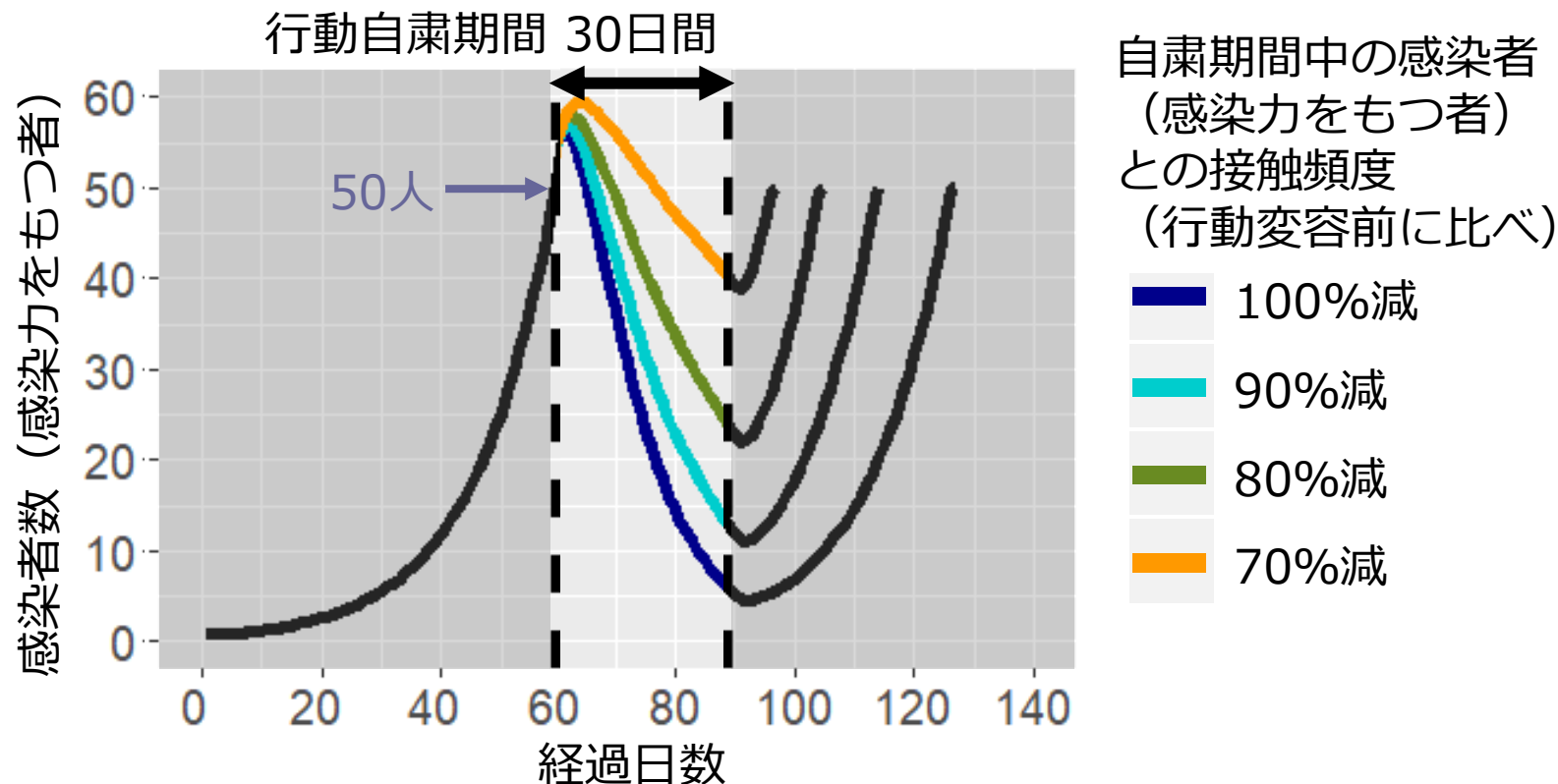
皆様へ

自粛を**継続**することが重要です。

緊急事態宣言が全国区となり、他者との接触など、行動自粛80%減を私たちも皆さんと協力し進めています。しかし、宣言が敷かれている5月6日までと考えず、自粛を継続することが重要だと呼びかけるため、この資料を作りました。5月7日以降にまた元の生活に戻ってしまうと、おおよそ**15日**で感染者がまた増えていくような状況に陥ってしまいます。

→医療崩壊を防ぐには自粛を**継続**することが重要です。

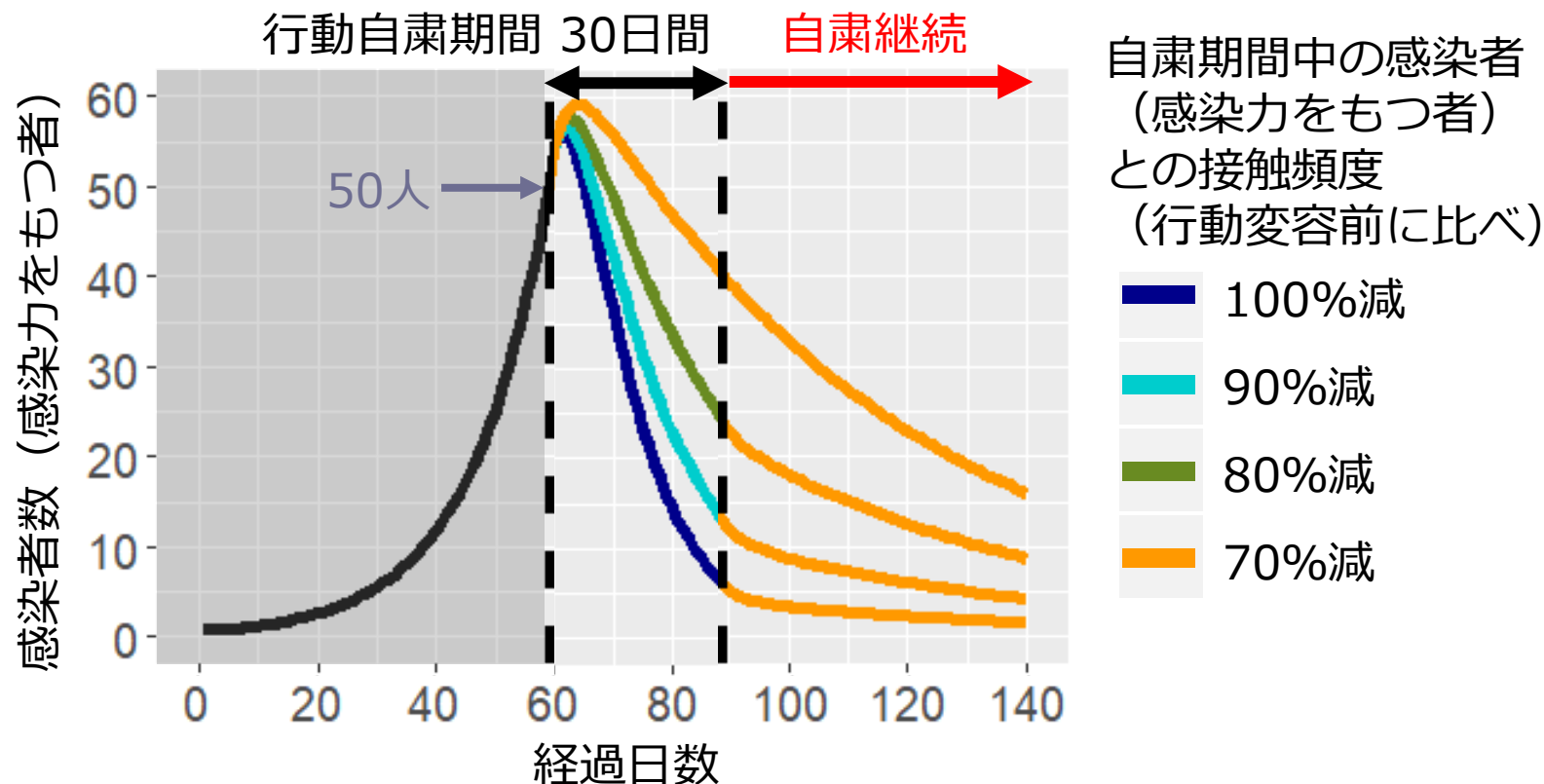
行動自粛解除後に、元の生活に戻った場合



- ・ 10万人の都市に1人の新規コロナウイルス感染者（無症候キャリア含め感染力をもつ者）が出現（0日目）し、感染者が50人になった時点（59日目）から30日間感染者との接触頻度を減らし、その後元に戻したと仮定（感染者が50人に戻るまでの経過を計算）した。
- ・ 縦軸はその日の感染者数であり、新規感染者の数ではない。

⇒ **80%減**を実現しても、**15日**で元の状況に戻る

行動自粛解除後も70%減の行動自粛を続けた場合



・ 30日間 (89日目まで) 感染者 (無症候キャリア含め感染力をもつ者) との接触頻度を減らし、その後は70%減を維持したと仮定した。

30日間感染者との接触頻度を減らしたのち、70%減を継続すれば感染者を減らしていくことができる

感染者の中には、**無症候キャリア**（本人は無症状だが、**ウイルスをすでに持ち、他人に感染させうる者**）も一定数存在しています。

自分を感染から守るためにも、自覚なく他者に感染させないためにも、未感染者を含めた皆さん全員で他者との接触頻度を今後も継続的に減らす必要があります。

元の生活にいち早く戻るためには、医療崩壊を防ぎ、ワクチンや有効な治療薬が開発されるまでの時間を、安全に稼ぐことが重要です。

行動自粛を続けていくよう、私たちも皆さんとともに、呼びかけていきたいと思えます。